



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：経済状況（8月27～28日付現地報道）

1. 予算修正に関する副大統領の発言（27日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙）

モラーディー副大統領（戦略計画・監督担当）は、制裁と戦うために、政府は本年度〔イラン暦1391年（2012年3月20日～2013年3月20日）〕予算を修正しなければならないとした。予算は通常、政府と国会との間で合意がなされて国会に承認される（注；本年度予算は既に、5月19日に国会で承認されている）。

2. 商業・工業鉱山省次官の発言（27日付アブラーレ・エグテサーディー紙）

商業・工業鉱山省次官は、「戦略物資備蓄は完了しているが、物資を市場に供給することは考えていない。鶏肉は供給が需要を上回っている状態にあり、問題はない」と述べた。

3. 自動車業界の戦略構築（27日付ドンヤーイエ・エグテサーディー紙）

ラフマーニー国会商業・工業鉱山委員長は、自動車業界の戦略構築はシャフリーヴァル月（2012年8月22日～9月21日）末までに完了し、政府に引き継がれると発表した。自動車業界における戦略の欠如が、民間投資や生産品質の低迷を招いている。

4. 商業・工業鉱山省次官の発言（28日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙）

商業・工業鉱山省次官は、産業界が抱える問題の68%はキャッシュフロー不足によるものであり、15%はマーケティングの失敗、7%は株主との問題、6%は原材料問題、4%は機械装置に起因する問題であるとした。

5. 流動性残高（28日付シャルグ紙）

イラン暦本年〔1391年（2012年3月20日～2013年3月20日）〕ホルダード月（5月21日～6月20日）の流動性残高は、3京7,600億リヤル（公定レート換算で約3兆700億ドル）であり、前年同期比735兆リヤル増となっている。この注目すべき事象をエコノミストらは、「紙幣の乱発」と呼んでいる。